

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年11月21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 三榮商會
所在地	東京都中央区日本橋小網町 6-14
代表者役職・氏名	代表取締役社長 岩井 榮三
担当者連絡先	電話：03-3667-1511
	メール：izawa@san-ei-net.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.san-ei-net.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和16年創業、東京港に於いて主に鉄鋼製品の取扱業務を行っております。港湾運送事業の他、自動車運送事業・通関業・内航運送業による海陸一貫輸送サービスを提供しております。 自社・公共バースでは、鉄道用レール等の長尺品などの鉄鋼製品を豊富な知識および経験と高い技術力によって円滑な作業を実施しております。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	CO2 排出量削減による脱炭素社会の実現	・業務用車両（乗用車）の低公害車導入 目標 80%
□環境 ✓社会 ✓経済	能力向上および職場環境の改善	・年1回、階層別の社内研修を実施 ・安全意識向上に向けた拠点ごとの安全大会 を年2回実施
□環境 ✓社会 ✓経済	キャリアアップの推進	・女性社員の管理職登用 2020年女性社員比 目標 30% ・定年到達者の再雇用率 目標 100%

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1 人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則に明記 ・社員の相談窓口を設置				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・長時間労働是正のため、管理者による残業時間をリアルタイムに把握している ・有給休暇の取得を確実にできる労働環境の整備に取り組んでいる。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・各拠点で年2回の安全大会を実施。物流機器メーカーを招聘し安全手順や事故事例等を周知している。 ・毎月、安全衛生環境保全会議を実施。事故防止や労働環境の整備に取り組んでいる			3				8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性社員を管理職に登用し、スキルアップを図る ・定年到達者の再雇用率100%を目指す				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・各資格取得に向け、外部研修の受講や試験費用を全額補助し、社員の知識向上を支援 ・階級別に定期的な研修実施			4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している				5.5				8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・経済産業省「健康経営優良法人」の取得を目指し取り組んでいる			3				8										
11 環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・廃棄物管理、再利用、分別等の3R推進に取り組んでいる										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・車載装備による燃費の見える化を実施している							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・業務用車両を順次、低公害車へ代替を行い導入を進めている							7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6								15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・各拠点ごとにグリーン経営認証を取得済			3.9		6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・全社で定期的な「無事故キャンペーン」を実施し、社員の安全意識向上を図っている			3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9									
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・災害発生時には支援物資を全社から募り、現地への支援物資輸送を実施する				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・各協会、業界団体を通じて地域の発展に向けた活動に取り組んでいる				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都中央区日本橋小網町6-14

名称： 株式会社三榮商會

代表者： 岩井 榮三

登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	CO2排出量削減による脱炭素社会の実現	・業務用車両(乗用車)の低公害車導入 目標 80%	・令和5年現在、5%
□環境 ✓社会 ✓経済	能力向上および職場環境の改善	・年1回、階層別の社内研修を実施 ・安全意識向上に向けた拠点ごとの安全大会を年2回実施	・階層別の社内研修 各階層別に計5回実施 ・拠点ごとの安全大会 全拠点にて計17回実施
□環境 ✓社会 ✓経済	キャリアアップの推進	・女性社員の管理職登用 2020年女性社員比 目標 30% ・定年到達者の再雇用率 目標 100%	・女性管理職 女性社員比 50% ・令和5年、定年到達者再雇用率 100%